



事業の進捗状況、残事業の内容等

用地取得率-%、事業進捗率約3%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

リニア本線（JR東海）及び駅周辺整備（飯田市）と連携しながら、早期の工事着手を目指し、用地取得の推進を図る。

施設の構造や工法の変更等

今後も新技術の採用や建設発生土の有効利用など、工事コスト・総コストの縮減に努めていく

対応方針

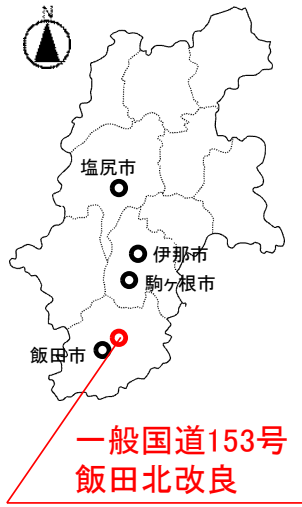
事業継続

対応方針決定の理由

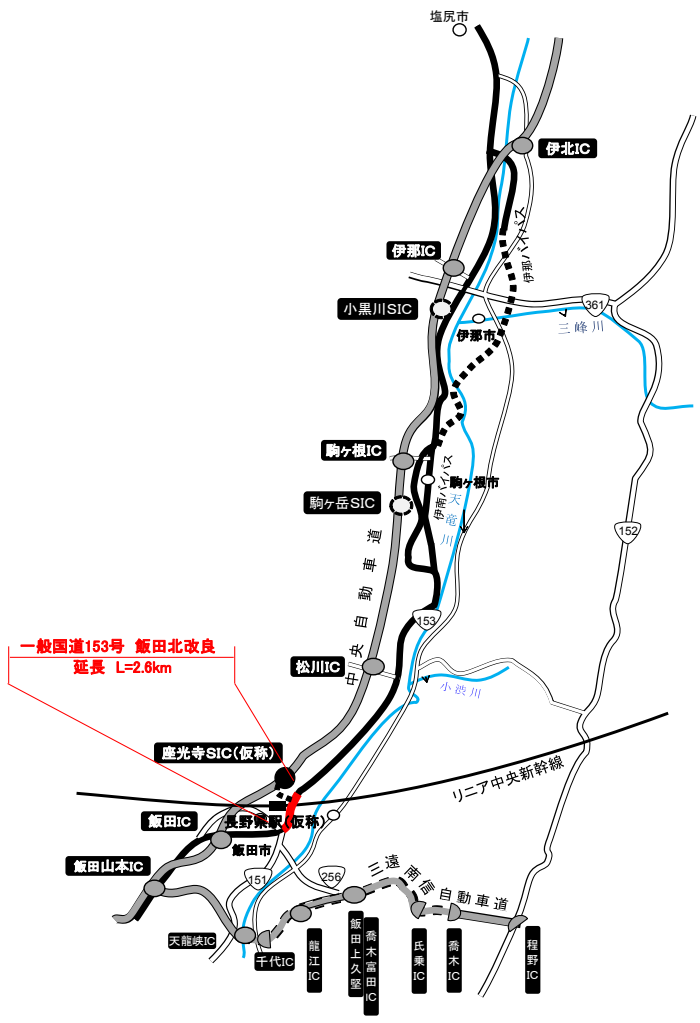
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図

《位置図》



凡 例	
	該当箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。